



2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 ワシントンホテル株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 長谷川 太
(コード番号:4691 東証スタンダード市場、名証メイン市場)
問 合 せ 先 執行役員経理財務部部長 津尾 則文
(TEL. 052-745-9036)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年5月14日に公表した2026年3月期の通期業績予想及び配当予想の修正を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想の修正について

(1) 2026年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 22,900	百万円 2,640	百万円 2,040	百万円 2,010	円 銭 166.97
今回修正予想 (B)	23,500	3,050	2,460	2,420	201.11
増減額 (B - A)	600	410	420	410	—
増減率 (%)	2.6	15.5	20.6	20.4	—
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	21,347	2,240	1,755	2,015	167.13

(2) 修正の理由

売上面につきましては、当第1四半期(4～6月)は、年度始めや春の観光シーズンにより全国的に宿泊需要が高水準で推移したことに加え、当社においては近畿地区7ホテルで大阪・関西万博開催による集客効果が想定以上だったことや、名古屋や博多地区においても訪日観光客(インバウンド)需要の高まりを受け好調に推移したこともあり、客室稼働率並びにADR(平均客室単価)が想定を上回って推移しました。他方で、万博の影響は10月中旬までの期間限定であることや、全館リニューアル工事が、9月からさらに1事業所で開始(計3事業所で工事)となり販売不能客室が増えることも踏まえて、通期売上予想は前回発表数値を約6億円(2.6%)程度上回る見込みとしました。

利益面につきましては、売上の増加影響が主要因ではありますが、レベニューコントロールによる単価上昇も寄与し、各段階利益において当初予想を15～20%超過する見込みです。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正内容

	年間配当金		
	中間配当 (円 銭)	期末配当 (円 銭)	年間 (円 銭)
前回予想 (2025年 5 月 14 日 発表)	0. 00	22. 00	22. 00
今回修正予想	0. 00	26. 00	26. 00
(参考)前期実績 (2025年 3 月 期)	0. 00	20. 00	20. 00

(2) 修正の理由

当社の剰余金の配当については、各事業年度の業績を勘案し、既存事業所の設備改修のほか、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ配当性向は25%を目安とした安定的かつ継続的な配当を行うことを目標にすることを基本方針としております。

2026年 3 月 期の 1 株当たり配当予想におきましては、今回の通期業績予想の修正を踏まえつつ、借入金の状況や、将来の設備投資等への備えなどを総合的に勘案し、前回予想から 4 円増配の26円に修正いたします。

今後も業績向上に努めるとともに、持続的な成長を通じて株主の皆様への利益還元を充実させてまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上